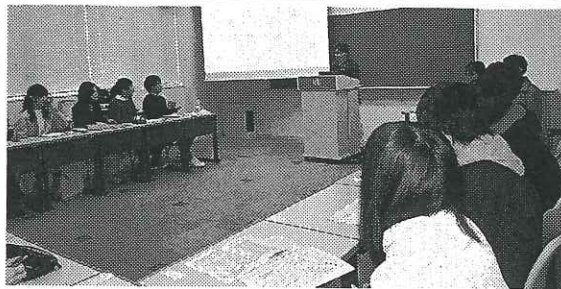


学生の地方創生プランコンテスト

市信用保証協会が初協賛



コンテストで研究成果を発表する学生

名古屋市信用保証協会（名古屋市中区）はこのほど、名古屋市熱田区の名古屋学院大学白鳥校舎で開かれた「地方創生プランコンテスト」に協賛した。同協会の創立70周年記念事業として初めて運営を支援。コンテストでは名古屋市および近郊の大学に在籍する学生ら約100人が参加し、地域経済の理解と関心を深めた。

コンテストは、学生が研

究成果を発表する場で、今後の地域経済発展に貢献する政策提言も目指している。今回は、開催校の名院大、名古屋市立大、中京大、愛知大、南山大の5大学が参加した。

当日は、市信用保証協会の戸軽啓次専務理事が訪れ、「今後も地域や中小企業を支える学生を支援していきたい」とあいさつした。各教室に分かれた学生は、1人15分という限られた報告時間で、高齢者が働きやすい環境づくりや生き残る老舗企業の秘密と言ったテーマで発表した。